

## 平成24年度事業計画

経済のグローバル化の進展による国際競争の激化と欧州経済の混迷の影響がドミノ倒しのよう  
に世界に広がる中で、3. 11の東日本大震災が発生し、長期化する円高の影響などもあり  
回復の兆しが見えていた我が国経済、そして北九州地域の産業・経済にも先行き不透明感が  
出てきている。

一方で、国や地方自治体の財政改革が叫ばれる中、都市の経営環境もまた大きく変化して  
きた。国民すべてが意欲と能力に応じ労働市場やさまざまな社会活動に参加できる社会を  
実現し、成長力を高めていくことに基本を置く「新しい公共」による地域づくりの方向が  
提示され、コミュニティービジネスやソーシャルビジネスなど、地域社会の中から新しい  
産業や雇用機会を生み出そうとする動きが活発化してきた。

こうした環境の中で、北九州地域の活性化における産学官民の連携軸の機能を持つK P E C  
の事業運営に対する関心と期待が高まってきている。

こうした環境をふまえて、平成24年度のK P E C事業は、北九州地域の中堅・中小企業  
の産業人材育成のための地域システムづくりを行う「北九州地域産業人材育成フォーラム  
事業」、企業人が小学校の教育環境の改善に取り組む「北九州の企業人による小学校  
応援団事業」、教育・文化分野の市民活動を支援する「1000人の夢寄金事業」の本格的  
な運営を図り、新しい地域活性化事業としての構築を目指す。

また、OECDによる「グリーン成長に関する世界のモデル都市」の選定を受け、「環境未来  
都市」を目指す北九州市の動きを踏まえ、15年の実績を持つ「もったいない総研事業」  
の拡充を図るとともにK P E Cとしての新しい取り組みの検討を行う。

指定管理事業である北九州イノベーションギャラリー(K I G S)の管理、運営につ  
いては、運営体制を拡充し、「人材育成・産業技術の保存継承・技術革新の機会創出」と  
いう館の目的の実現を目指すとともに、K P E Cの組織環境を生かした地域連携による  
事業運営の環境づくりをする。

また、こうした事業の拡充に対応した事業運営組織の拡充、財政基盤の強化、事務  
局体制の整備等、K P E Cの運営体制強化についての環境整備も並行して進める。

平成24年度の事業計画は以下のとおりである。

### 【公益目的事業】

#### 1. 環境を未来に引き継ぐ事業

##### 1) もったいない総研事業

- (1) もったいないスクール2012
- (2) もったいない精神(こころ)の普及
- (3) もったいない塾の開催
- (4) 広報活動

#### 2. 産業人材を育成する事業

##### 1) 北九州地域産業人材育成フォーラム事業

- (1) インターンシップ事業の実施

- (2) 社会人教育プログラム事業の実施
- (3) 青少年育成プログラム事業の実施
- (4) 産業人材育成の地域クラスタ形成に向けた環境整備

### **3. 次世代を担う人材の育成事業**

- 1) 「北九州の企業人による小学校応援団」事業
- 2) ひまわり塾の開催

### **4. 都市格（文化力・教育力）向上事業**

- 1) 「1000人の夢寄金」事業の実施
- 2) その他関連事業
  - (1) 北九州ミュージックプロムナードの支援
  - (2) 北九州市にぎわいづくり懇話会への参画

### **5. 情報受発信・交流事業**

- 1) ABLEサロンの開催
- 2) 情報受発信の強化
  - (1) KPECニュースの発行
  - (2) ホームページの運営
- 3) 地域づくりネットワーク事業
  - (1) 北九州地域経済団体連携フォーラム事業
  - (2) 地域づくりネットワークへの参画

### **6. 北九州イノベーションギャラリー指定管理者事業**

- 1) 企画展事業
- 2) 調査研究事業
- 3) 教育普及事業
- 4) その他教育普及事業
- 5) 映像製作事業

### **7. まちづくり推進事業**

- 1) まちづくり講演会の開催
- 2) 地域活性化に向けた新しい活動分野の研究
  - (1) 「環境未来都市」づくりに向けたKPEC事業の研究、開発の実施
  - (2) 「新しい公共」研究プロジェクトの編成

## **【組織活性化事業】**

### **1. 会員サービス事業**

- 1) 情報提供の推進
- 2) 会員募集の強化

### **2. 地域連携促進事業**

- 1) スポーツ振興チケット事業

### **3. 組織活性化事業**

- 1) 事務局体制の強化
- 2) 会議等の実施

## 【公益目的事業】

### 1. 環境を未来に引き継ぐ事業

#### 1) もったいない総研事業

世界の環境首都を目指す北九州市の環境政策を踏まえ、昨年に認定された「環境未来都市」の実現に向けて、市民・企業・大学・行政の協働の場づくりと「もったいない精神(こころ)」の普及のための情報交流機会の創出を行う。

#### (1) もったいないスクール2012

(社)北九州青年会議所と協働で、中学生を対象とした「北九州ドリームサミット(KDS)」の事業の一つとして環境関連活動を実施する。

#### (2) もったいない精神(こころ)の普及

“もったいない精神(こころ)”提唱の先駆者として、市民一人ひとりが環境意識を高めて持続可能な低炭素社会を作り出していくよう、生活に密着した活動を展開し“もったいない精神(こころ)”の醸成を図る。

##### ① 環境「もったいない」作文の募集

北九州市PTA協議会と共催で、市内全域の中学校(中学2年生)を対象に環境作文を募集し優秀作品を表彰する。

##### ② 「PTA フェスティバル(仮称)」での環境教育実施

北九州市PTA協議会が主催して開催する「PTA フェスティバル(仮称)」において小・中学生を対象とした環境教育を行う。上記環境「もったいない」作文優秀作品の表彰式も併せて行う。

##### ③ 食と農のプロジェクト

地元の食材を楽しみ、親しみ、環境に貢献しながら地元食文化を受け継いでいくと共に、子どもたちの食育を進め、北九州の「食」と「農」の向上を図ることを目的として以下の活動を行う。

- ・主催イベント 先進地域見学会、交流会など(年2~3回)
- ・支援プロジェクト 有機農法で農産物を栽培する農園や、ショップ、レストラン等を発掘し、これらの情報を北九州活性化協議会「もったいない総研」のホームページに掲載して周知する。

##### ④ リサイクルトイレットペーパーを通じた環境教育

リサイクルトイレットペーパー「えこっパー」の製造メーカーから売り上げに応じて頂いた寄付金を北九州市PTA協議会に寄付し、子供たちの環境教育に役立てる。

また、学校給食の牛乳パックを「えこっパー」の原料として活用する方法を関係機関と連携して検討し、牛乳パックのリサイクルを促進する。

#### (3) もったいない塾の開催

市民や企業の意識啓発と「世界の環境首都」の機運作りを目指して、もったいない塾を開催する。

##### ① 「ラジオもったいない塾」

北九州シティ FM の環境番組「エココロ Wind」にて、「ラジオもったいない塾」として、もったいない総研の活動などを紹介する（月 1 回）

② 環境に関する講演会の開催

環境について考える機会を市民へ提供する。

③ 年長者研修大学校での講演

北九州市立年長者研修大学校（周望学舎、穴生学舎）の「暮らしと環境」講座において、各年一回講演し、もったいない総研の活動を紹介します。

(4) 広報活動

もったいない総研の活動を情報発信し、市民意識の向上を図る。

① 「もったいないすたいる」の発行（年 1 回、平成 25 年 3 月）

② ホームページにより、活動情報をタイムリーに発信する。

2. 産業人材を育成する事業

1) 北九州地域産業人材育成フォーラム事業

北九州市の「北九州成長産業戦略推進会議」と連携して「北九州地域産業人材育成フォーラム」を編成し、産学官協働による産業人材育成事業を企画・実施する。

(1) インターンシップ事業の実施

北九州地域の工学系大学の学生を対象にしたインターンシップ事業を実施するとともに、実践を踏まえた地域連携型インターンシップのモデル化を推進する。

① 地域連携型インターンシップ事業の開発・実施

i) 地域 4 工学系大学と中堅・中小企業の協働で実施する地域連携型インターンシップ事業を拡充する。（目標：大学—4 校、企業—60 社、学生—100 名）

ii) 「インターンシップ研究プロジェクト」を編成し、企業の経営改善等に有効な「実践型インターンシップモデル」の開発と地域連携型インターンシップのモデル化を行い、「インターンシップガイド CD」を作成し、関係企業へ配布してインターンシップ事業の実施促進を図る。

② グローバル人材育成事業の開発、実施

地域企業のグローバル人材ニーズを踏まえ、地域企業の海外事業所と連携した海外インターンシップの実施環境の調査を行うとともに、留学生のためのインターンシップ事業モデルの編成を行い、インターンシップ事業への組み込みを行う。

③ 北九州の産業・企業視察事業の実施

i) 雇用促進のための企業研修ツアーの実施

地元企業の理解促進と社会人基礎力の向上を目的としたインターンシッププログラムとして、中堅・中小企業を対象にした企業研修・視察ツアーを実施する。

（実施回数:3回、視察企業:中堅・中小企業中心、対象:3,4年生及び院生）

ii) 「学生のための北九州企業発見ツアー」の企画・実施

北九州商工会議所が推進する産業観光事業とインターンシップ事業を連動させた企業見学ツアーを企画、実施する。

（実施回数:3回、視察企業:大企業中心、対象:全学生）

## (2) 社会人教育プログラム事業の実施

北九州地域の大学の「社会人向け人材育成プログラム」を中堅・中小企業の経営力強化のために活用する仕組みと事業化の環境開発を行う。

### ① 中堅・中小企業の社会人ドクター創出に向けた環境開発

「北九州ドクターチャレンジプログラム研究プロジェクト」を編成し、地域企業の中核社員が、九州工業大学の社会人プログラムを活用して博士号取得をすることのできる制度研究と環境づくりを行う。

### ② 中堅・中小企業の経営・管理者の育成に向けた環境開発

「MBA活用プログラム研究プロジェクト」を編成し、北九州市立大学のMBAマネージメントコース（K2BS）を活用した経営人材の育成のための環境づくりと事業の企画・運営を行う。

#### i) MBAサテライトフォーラムの実施

北九州市立大学MBAマネージメントコースと連携した短期集中講座（スキルアップ講座）を実施する。

#### ii) MBA白熱教室等の企画・実施

MBA履修した企業経営者による出前講義や、学生を対象にした公開講座（白熱教室）を実施する。

## (3) 青少年育成プログラム事業の実施

### ① 青少年育成プログラム研究会の設置、運営

青少年の理数教育支援やものづくりに関する基本的な資質の習得機会の創出のための事業プログラムや実施体制について、関係者による研究会を編成し、H25年度に向け事業化の検討を行う。

### ② 関連事業と連携した青少年プログラムの実施

- ・北九州イノベーションギャラリー（KIGS）の運営環境を活用した青少年プログラムの開発。
- ・「北九州の企業人による小学校応援団」事業等と連携した青少年育成プログラムの企画、開発。

## (4) 産業人材育成の地域クラスタ形成に向けた環境整備

### ① 北九州地域産業人材育成フォーラム「企業部会」の編成

北九州地域産業人材育成フォーラムの事業推進基盤として、産業人材育成を協働するための地域企業のアライアンス(企業部会)を編成する。

(目標企業数；150社・登録負担金；30,000円/年)

### ② 「産業人材育成セミナー&産学交流会」の開催

産業人材育成フォーラム事業への参画と大学関係者と企業経営者の顔の見える交流を促進するためのインセンティブ事業を実施する。

：日 時 ： 平成24年4月5日

：場 所 ： 北九州国際会議場 2F 国際会議室

：テーマ ： 変革期をタフに乗り切る産業人材育成とは！

(大学、企業、そして、地域社会は何をすべきか)

③ 北九州地域の中堅・中小企業のための産学協働事業の企画・実施

i) 大学内企業説明会の実施

地場中堅・中小企業への就職機会の創出を目的に「産業人材育成フォーラム企業部会」企業を対象にした大学内企業説明会(九工大)の企画・開催。

ii) 出前講座の企画・開発の実施

企業経営者による大学での実践講座及び企業内研究講座等への大学関係者の出前講義など産学双方向での出前講義の企画、開発を行いフォーラム事業として事業化の検討を行う。

④ 「北九州産業人材育成フォーラム」ホームページの設置

産業人材育成に関する関係分野、機関の情報と産業人材育成フォーラム関連情報を集約するホームページを設置し、学生を含めたステークホルダーの情報交流機能としての拡充を図る。

⑤ 「北九州人づくり・価値づくり企業ネットワーク事業(仮称)」の開発

「北九州地域企業のブランディング戦略研究会」を編成し、地域の中堅・中小企業の「見える化」のための事業企画・開発を行う。

具体的には、企業部会登録企業を企業ベースとし、産業人材育成フォーラムのホームページをシステムベースとして、「北九州人づくり・価値づくりベストワン企業ネットワーク(仮称)」をWeb上に設置することを目指す。

3. 次世代を担う人材を育成する事業

1) 「北九州の企業人による小学校応援団」事業

小学校教育の活性化と環境改善に向けて、地元有志企業の参加を得て編成した「北九州の企業人による小学校応援団(平成23年10月27日発足)」の活動方針に基づき、次の学校応援プロジェクトを企画・実施する。

プロジェクトの推進に当たっては、市教育委員会、校長会、PTA連合会等と連携し、モデル校(11校)を核として、事業を進める。

(1) 義務教育支援事業の推進のための環境整備

① 専任事務局長の配置

「小学校応援団」の事業開発と円滑な運営を図るために「KPEC義務教育支援委員会」に新しく事務局長を配置する。

② 北九州市教育委員会との連携協定の締結

義務教育支援事業の計画的な事業推進と円滑な運営を図るため、北九州市教育委員会とKPECとの間に「連携協定」を締結する。

(2) 支援対象ごとに事業計画の立案と事業実施

① 保護者に対する支援

i) 「(仮称)PTAの日」の共同提案及び企業の参加促進

保護者のPTA活動への参加意識を高めるため、特定の日を全小学校の「PTAの日」とすることをPTA連合会や校長会と共同提案する。併せて保護者

である企業の従業員が「PTAの日」に参加しやすい環境づくりを促進する。

ii) **親学講座の開催**

家庭の教育力を高めるとともに、学校の現状に対する理解を深めるため、市教育委員会の「子どもを育てる10か条」専任講師やPTA連合会役員等の協力を得て、児童の保護者である会員企業の従業員等を対象とした講座を企画し、開催する。

② **児童の学習支援**

i) **モノづくりや環境問題をテーマとする学習プログラムの提案**

地元企業の先駆的な取り組みや環境問題に対する知識を深めるとともに、技術者達の努力やチームワークを学ぶことをねらいとして、日常目に触れる製品や児童の関心を引きやすい製品を製造している企業の協力を得て、出前授業と体験学習のプログラムをつくり、モデル校に提案して導入を図る。

③ **教職員の研修支援**

i) **新任教員等を対象とする研修プログラムの提案**

企業人の仕事に対する意識やノウハウ、求める人材について知識を深めることをねらいとして、複数の企業の協力を得て、座学と短期体験研修のプログラムをつくり、市教育センターに提案して導入を図る。

2) **ひまわり塾の開催**

- ・企業人と市職員それぞれが観点の違う立場から「北九州市のまちづくり」について考え、新しい発想のトレーニングをする場として発足した「ひまわり塾」を継続実施する。

主催 ; (公財) 北九州活性化協議会、北九州市

対象 ; 企業人15名程度、北九州市職員15名程度

スケジュール ; 開講式：平成24年7月

発表会・閉校式：平成25年7月

4. **都市格（教育力・文化力）を向上する事業**

1) 「1000人の夢寄金」事業

教育および文化分野における市民活動への助成による都市格（文化力・教育力）の向上を図ることを目的とした「KPEC 夢のかけ橋寄金」の設置について、「夢の架け橋寄金委員会」にて仕組みを検討してきたが、事業の名称を「夢のかけ橋寄金」から「1000人の夢寄金」に変更し、以下のとおり活動していく。

(1) **募金事業プロジェクトの推進**

① **募金事業の実施**

i) 寄付の単位を1口3000円とした寄付金の募金事業を展開する。

ii) 「1000人委員会」の編成

- ・寄付者を中心として「1000人委員会」を編成し、この委員会を核として募金活動を推進する。(設立目途：平成24年4月)

② **寄付金受け入れ体制の構築**

i) 公益財団法人の寄付金優遇税制を活用できる体制の構築

KPECとして総括的寄付金事業計画を立案し、制度環境の調整を行い、「1000人の夢寄金」事業の運営基準の確立を図る。

- ii) 寄付者および寄附金の受け入れ及び管理体制の構築  
寄付金事業計画に従った、寄付金管理のためのシステム研究を行い、公益認定を踏まえた管理体制の構築を行う。

### ③ 募金活動の実施

#### i) 寄金募集のためのツールの作成及び広報の実施

寄金のロゴマーク及びキャッチフレーズを定め、事業コンセプトを明確にした公式パンフレットを作成し、広報により周知を図る。

## (2) 助成事業プロジェクトの運営

寄金を活用した助成事業に当たっては、助成ルールを確立し、北九州の都市格向上に資する各種の取組を広く募集し、年間2回の助成事業を行う。

### ① 助成先団体の募集

助成ルールと助成申請要綱の策定とそれに基づく応募用ツールの作成を行い、助成事業プロジェクトによる募集事業を実施する。

### ② 「KPEC1000人の夢寄金」審査委員会の設置

公益事業認定を踏まえて、公正、公平、公明性を持った補助金審査委員会の設置を行う。

### ③ 助成先の選定

文化および教育について高い識見を有するアドバイザーでの事前審査を経て、審査委員会により助成先を選定する。

## (3) 「1000人の夢寄金」の広報・プロモーション事業の実施

### ① 「1000人の夢寄金」ホームページの立ち上げ

基金の位置づけと寄付事業等の円滑化を図るために、KPECのホームページにリンクした基金のホームページを開設する

### ② 「1000人の夢寄金」設立記念講演会を開催

「1000人の夢寄金」の設立記念事業として講演会を開催する。  
(平成24年5月予定)

## 2) その他関連事業

### (1) 北九州ミュージックプロムナードの支援

平成8年にKPECの提唱で企画され、北九州市民参加交流型の音楽フェスティバルとして定着している「北九州ミュージックプロムナード実行委員会」に参画し、運営を支援する。

### (2) 北九州市にぎわいづくり懇話会への参画

市民主導によるビクターズ・インダストリー創出推進を目的とした「北九州市にぎわいづくり懇話会」に参画し、行政と協働でにぎわいづくり事業の企画、実施を行う。

## 5. 情報受発信・交流事業

### 1) ABLEサロンの開催

地域社会の課題や地域政策などの動態を学び、KPECの活動の方向性を探るとともに、会員企業及び地域活性化に取り組む人との交流を促進することを目的として「ABLEサロン」を企画、開催する。

- ・ 実施内容 ; 講演会および交流会
- ・ 実施回数 ; 年間3回程度

### 2) 情報受発信の強化

#### (1) KPECニュースの発行

KPECの活動及びまちづくり関連情報を集約、掲載した機関誌「KPECニュース」を発行する。

- ・ 発行回数 : 3回/年
- ・ 発行部数 : 1000部

#### (2) ホームページの運営

KPECが実施する4つの事業の個別ホームページを体系化し、事業分野の関係組織及び情報を集約したKPECホームページを設置、運営する。

##### ① ホームページのリンク

- i) もったいない総研HP
- ii) 北九州地域産業人材育成フォーラムHP (平成24年6月立ち上げ予定)
- iii) 1000人の夢寄金HP

### 3) 地域づくりネットワーク事業

#### (1) 北九州地域経済団体連携フォーラム事業

北九州市内の経済団体の連絡会議を編成し、法人経営や事業運営の実務に関する情報交流を図ると共に事業連携を図る。

(参加団体) 北九州商工会議所、(公財) 北九州活性化協議会、(一社) 西日本工業倶楽部、(社) 北九州中小企業経営者協会、(社) 北九州青年会議所、(社) 北九州青年経営者会議

##### ① 連携事業

- i) 共催事業の実施  
「世界に広がる北九州の明日を考える講演会」の開催をする。
- ii) 協力事業の実施  
各団体の企画する事業および組織運営に関する情報交換等を行い、相互協力による事業運営の円滑化を図るとともに、地域振興に向けた連携事業等の研究を行う。

#### (2) 地域づくりネットワークへの参画

「地域づくりネットワーク福岡県協議会」の北九州ブロック代表幹事として、同協議会主催の研修会・交流会等に参画し、北九州市域の地域づくり団体との橋渡し

役を果す。

## 6. 北九州イノベーションギャラリー指定管理者事業

平成23年度の春企画展は東日本大震災の影響下に開幕し、市と約束した数値目標（総入館者数・企画展観覧者数・教育普及参加者数・収入）を大きく割り込んだ。この遅れを挽回するために、夏以降の企画展ではTV等を中心とする広報拡大、来館者即応のものづくり体験の増強、貸室誘致強化等の施策を行った結果、年度の数値目標を全てクリア出来る見込みである。

本年4月、開館満5年を迎えるにあたり、展示・教育普及において一步踏み込んだ展開を行い、成果を得るために、技術士会やデザイナー協会、市教育委員会等と連携した共催事業を強化し、開発や技能伝承に関する実践的な倶楽部・プロジェクトを増やすなどの取り組みを盛り込む。また、10周年記念事業を展開する「環境ミュージアム」「いのちのたび博物館」、年明けの市制50周年記念行事とうまく連動した事業を実施することで相乗効果を得たい。施設維持管理においても従前同様、不具合の補正等細やかな対応を行い、来館者満足度の維持・向上に努める。

### 1) 企画展事業

- (1) 春 『伝える⇒電話・ケータイ展』：3月24日～6月17日（予定）
- (2) 夏 『(仮称) 遊びから学ぶ～「創る・造る・作る」～展』  
： 7月7日～9月23日（予定）
- (3) 秋 『(仮称) 工業デザイン展』 : 10月13日～12月16日（予定）
- (4) 冬 『(仮称) 北九州イノベーター物語展』  
： 平成25年1月12日～3月31日（予定）  
(冬企画展は北九州市制50周年事業と併せる)

### 2) 調査研究事業

- (1) 自主調査研究（予定）  
『北九州イノベーター列伝～近代産業を拓いた偉人達』：(市制50周年向け)  
『(仮称) 板ガラスの技術革新史～旭硝子』
- (2) 委託研究(予定)  
『(仮称) インフラ整備が果たした北九州の技術革新の役割』
- (3) 共同研究  
『鋳物産業の技術の系統化』

### 3) 教育普及事業

- (1) イノベーションフォーラム
- (2) 企画展連動講演会他イベント実施  
(春・夏・秋・冬 各企画展と連動して開催する)
- (3) 技術革新講座（年間共通基本テーマ検討中）  
年／4回のシリーズとして共通テーマを決めて開催する。
- (4) デザイン講座（詳細検討中・コーディネーター：九州大学 森田 教授）  
平成24年秋企画展は「工業デザイン展」を開催予定であり、  
このテーマと併せて、コーディネーターと年間共通テーマの検討を行っている。
- (5) ものづくりの心 講座  
工業高校生にもものづくりの心の伝承、地場企業の取組みなどを紹介する。

- (6) 共催事業  
技術士会、デザイナー協会、市民カレッジ等との新規に共催の講演会、セミナーを実施。

(7) 技能伝承道場（工房塾）

- ① ものづくりに関わる高度技能者である、北九州マイスターの技術・技能を工業高校生対象に実演し貴重な技能を次代に継承してゆく事業を行う。
  - ② 工業高校の実技担当教員に対しての実技指導を行う。（高校からの要請）
- (8) 調査・研究報告会（調査・研究成果の報告会の実施）
- ① 北九州技術革新史（23年度調査研究 全体編）
  - ② 北九州イノベーター（23年度調査研究 5名・鮎川氏・安川氏・大倉氏・浅野氏・金子氏）

#### 4) その他教育普及プログラム

(1) ワークショップ

- ① K I G Sプロジェクト  
（工業高校生、大学生らによるチーム編成で創造的ものづくりに挑戦する。）
- ② K I G S倶楽部  
（市民を対象にものづくりやデザインの実践コースを行う）

(2) イベント

（東田サマースクール、イノベーションツアー、親子工作教室、K I G Sミニ体験  
たたら、東田祭りなどの地元連携行事、産業映像上映会、他）

- (3) 中学校の先生に学ぶ（北九州の中学校の先生が教える理科実験教室）
- (4) S A F n e tサマーイベント（3館連携事業の一環として開催）
- (5) 3D塾（CAD・CAM）の指導
- (6) 団体向け講習（企業、学校の要請に対応した事業：修学旅行生・企業研修など）

#### 5) 映像製作事業

(1) シャボン玉石けん株式会社

（テーマ検討中）：自然素材にこだわり人に優しい石けん作り・消化剤の開発

### 7. まちづくり推進事業

PPP（公民連携）や「新しい公共」など「支え合いと活力のある」社会の実現に向け、公益財団法人であるK P E Cの組織的位置づけを活かし、市民・団体・大学・行政等の連携軸として北九州の街づくりのための環境づくりを行う。

#### 1) まちづくり講演会の開催

平成22年度に実施した「まちづくり講演会」を踏まえ、関係組織の連携強化と地域のシンボル事業の開発を目的として、経済団体と協働で「世界に広がる北九州のあすを考える講演会」を開催する。

- ① 主催 ; (公財) 北九州活性化協議会、北九州市
- ② 共催 ; 北九州地域経済団体連携フォーラム加盟団体
- ③ 開催日 : 未定

## 2) 地域活性化に向けた新しい活動分野の研究

公益財団法人としてのKPECの組織的環境を活用し、「新しい公共」による地域づくりの視点を踏まえた地域活性化事業の研究、開発を行い、事業化の方向性を検討する。

### (1) 「環境未来都市」づくりに向けたKPEC事業の研究、開発の実施

「環境未来都市」をふまえたKPEC事業の開発・研究を行うプロジェクトを編成し、産学官民連携による「環境未来都市」づくりに貢献する事業についての研究、開発を行う。

### (2) 「新しい公共」研究プロジェクトの編成

産業、雇用政策として国が推進する「新しい公共」づくりについて、中間管理機能を持つKPECが取り組むべき事業の方向とその事業化に関する研究プロジェクトを設置する。

## 【組織活性化事業】

KPECの目指す役割を果たすために、KPECの強みを活かした事業の企画・運営を行い、KPEC組織の活性化を促進する。

### 1. 会員サービス事業

#### 1) 情報提供の推進

会員への情報伝達の効率化とスピードアップを図るための環境整備を行う。

- ・会員等データベースの整備
- ・情報発信システムの整備

#### 2) 会員募集の強化

各種事業活動の活性化の促進と広報の強化により会員拡充を図る。

### 2. 地域連携促進事業

#### 1) 「スポーツ振興チケット」事業

官民で設置した「スポーツ振興による青少年健全育成実行委員会」を通じて平成22年度に実施した「サッカーを通じた青少年育成事業—スポーツ振興チケット」の活用を促進し、KPECの青少年育成事業の実をあげるとともに、地域活性化のシンボルである「ギラヴァンツ北九州」を積極的に支援する。

### 3. 組織活性化事業

#### 1) 事務局体制の強化

##### ① 事業担当体制の整備

4つの主要事業の本格的展開に向け委員会の運営体制及び事務局の体制整備を行う。また、職員研修を目的としたKPECへの職員派遣制度の検討を行い、地域企業と連携したKPEC事務局運営体制の強化を図る。

##### ② KIGSの運営体制の見直し

調査研究事業の強化を踏まえた事業運営体制の再編を行う。

## 2) 会議等の実施

定款等に基づき、所定の会議を開催する。

- i) 理事会の開催（6月、3月、定款32条に基づく業務執行状況報告）
- ii) 評議員会の開催（6月、3月）
- iii) 評議員選定委員会の開催（随時）
- iv) 執行役員会議の開催（月1回）